(別記様式第20号)

可 燃 性 天 然 ガ ス 濃 度 確 認 申 請 書

年　　月　　日

石川県知事　　　　　　　　殿

 　　　　　　　　　　　　　　　住　所

 　　　　　　　　　　　　　　　氏　名

法人にあっては、その名称

及び代表者氏名

（連絡責任者氏名 　 電話 　　　　　　 ）

　温泉採取に係る可燃性天然ガス濃度が、災害防止措置を必要としないものである確認を受けたいので、温泉法第１４条の５第１項の規定により関係書類を添えて申請します。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| １ | 温泉の採取場所 | 源泉名 |  |  |
| 所在地 |  |  |
| ２ | 源泉の現況 | 深度 | 0 ～　　m | ～　　m | ～　　m | ～　　m |  |
| そう入管径 |  ㎜ |  ㎜ |  ㎜ |  ㎜ |  |
| 温　　度 |  　 ℃ | 測定日 　年　月　日 |  |
| ゆう出量 |  　 Ｌ/分　 □自噴　□動力 |
| 自然水位 | ± ｍ |
| ３ | 採取開始予定日 |  年　　月　　日 |  |
| ４ | メタン濃度測定 | 測定場所 |  |  |
| 測定年月日 |  年　　月　　日 |  |
| 測定方法 |  |  |
| 測定結果 |  |  |
| 測定者 |  |  |
| ５ | 温泉を採取することとなった理由 |  |  |
| ６ | 前温泉採取者 | 住　　所 |  |  |
| 氏　　名 |  |  |
| ７ | 温泉採取の目的 |  |  |

(備　考)

１「源泉の状況」は、採取することとなった温泉に係る源泉の状況を次により記載すること。

　(1) そう入管径は、内径を深度毎に記載すること。

　(2) 温度、ゆう出量及び自然水位は、本申請前１年以内の測定値を測定日とともに記載すること。

２「メタン濃度測定」については、環境大臣が定める方法により測定した、メタンガス濃　度の測定結果書を添付すること。

３「温泉を採取することとなった理由」は、温泉掘削後、被温泉掘削許可者がそのまま採取する場合には「新規採取」と、被温泉掘削許可者又は前採取者から採取する権利を取得した場合には「買収｣ 、 ｢譲渡」等取得の事由を記載すること。

４「前温泉採取者」は、前採取者がある場合のみ記載すること。

５「温泉採取の目的」は、温泉利用の状況又は今後の利用方針について、具体的に記載すること。

６　上記の他、この申請書には次の書類を添付すること。

　(1) 源泉の採取の場所の状況を現した写真

　(2) メタン濃度の測定の実施状況を現した写真

　(3) 源泉が所在する土地の登記事項証明書

　(4) 源泉が所在する土地の所有者が温泉を採取する者以外の者である場合は、当該土地を使用する権利を有することを証する書類

　(5) 温泉の採取地の位置を明示した地形図及び見取図

　(6) 定款又は寄附行為の写し (申請者が法人の場合)